

<b>Logitec</b>	Bluetooth バージョン2.1+ EDR対応
<b>Bluetoothヘッドセット &amp; USBアダプタ</b>	
LBT-HS121C2シリーズ	取扱説明書 V02

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は、Bluetoothヘッドセットの使用手法や、安全にお取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。本書の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。また、本書は、いつでも読むことができる場所に大切に保管しておいてください。

## 製品の特長

本製品は、ヘッドセットプロファイル (HSP) またはハンズフリープロファイル (HFP) に対応したBluetoothヘッドセットです。USBアダプタを同梱していますので、Bluetoothを搭載していないパソコンでもワイヤレスでのチャットや通話が行えます。Bluetoothの最新規格「Bluetooth 2.1」に対応しており、同規格に対応した機器とセキュアでシンプルなペアリングを実現します。

- 1回の充電で約10時間の連続通話が可能で、タフバッテリータイプです。長時間通話が楽しめます。
- 柔らかく長時間装着しても耳に負担をかけないイヤーフックを採用。また、取り付ける向きを変えることで、左右どちらの耳にも装着できます。
- S/M/Lの3種類のイヤークッションが付属し、耳の大きさに合わせて選択できます。
- 携帯電話から離れ接続が切れると、ピープ音が鳴り、携帯電話の置き忘れを防止します。
- 最大8台の機器とのペアリング情報を保持できます\*。一度ペアリングをしたら、次回からは面倒なペアリングは不要です。

\* 同時に接続できる機器は1台だけです。

### 接続のときに必要な情報です。

■携帯電話やパソコンから検索するときの本製品の名称

→ **LBT-HS120C2**

■パスキー

→ **0000 (半角ゼロ4つ)**

## パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには以下のものが含まれています。お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。

- USBアダプタ
- ヘッドセット本体
- イヤーフック (ヘッドセット本体に装着されています)
- USB充電ケーブル
- 取扱説明書 (保証書付)
- イヤークッション (S/M/L) (ヘッドセット本体に(M)が装着されています)
- セットアップCD-ROM

## 取り扱い上の注意

### ■正しく安全にお使いいただくために

本製品を正しく安全にお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

- 警告** ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

- **自動車の運転中に操作しないでください。** 運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。本製品の操作は、必ず車が停止した状態で、周囲の安全を確認してからおこなってください。

- **車の運転中には使用しないでください。** 車の運転中にはヘッドセットを使用しないでください。また、歩行中でも、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよくご確認ください。

- **万一、異常が発生したときは...** 本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、付属のUSB充電ケーブルをコンセントから抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

- **高温のまま放置しないでください。** 本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

- **車の中には絶対に放置しないでください。** 本製品を高温の車内に長時間放置しておくと、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。

- **充電には付属の充電機器以外使用しないでください。** 本製品は内部電源にリチウムポリマー電池を使用しています。この電池は扱いを誤ると発火の危険性があります。本製品の充電には付属のUSB充電ケーブル以外は使用しないでください。異なるものを使用すると、発火・故障の原因となりますので、絶対におやめください。

- **充電が終わったら、必ず充電ケーブルを取り外してください。また、必要な充電時間を終えても充電が完了しない場合も、いったん充電を終えてから充電ケーブルを取り外してください。** 所定の充電時間を超えて充電をおこなった場合、内部電池が発熱・発火・破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

## 基本仕様

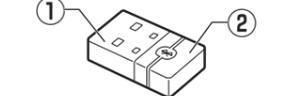
製品型番：LBT-HS121C2シリーズ

<b>キャリア周波数</b>	2.400～2.4835GHz
<b>Bluetooth仕様</b>	Bluetooth 2.1+EDR
<b>周波数拡散方式</b>	FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum) Class2
<b>伝送距離</b>	最大半径10m (障害物がない場合) *
<b>最大通信速度</b>	約2.1Mbps (理論値)
<b>対応プロファイル</b>	Headsetプロファイル (HSP) 、Handsfreeプロファイル (HFP)
<b>アンテナタイプ</b>	内蔵型チップアンテナ
<b>連続通話時間</b>	最大約10時間**
<b>連続待ち受け時間</b>	最大約250時間**
<b>環境条件 動作時</b>	温度 5～35℃ 相対湿度 20～80% (ただし、結露なきこと)
<b>保管時</b>	温度 -10～+50℃ 相対湿度 10～90% (ただし、結露なきこと)
<b>入力電圧</b>	DC5V (USB充電ケーブルから給電)
<b>消費電力</b>	3.7V/120mAh 通話時出力 約13mA
<b>外形寸法</b>	27×32×52mm (幅×奥行き×高さ、突起部分のぞく)
<b>質量</b>	約11.6g (イヤーフックをのぞく)

\* 伝送距離は、ペアリングした機器の性能や電池残量に依存します。  
\*\* 使用環境により、時間が短くなる場合があります。

### 【各部の名称とはたらき】

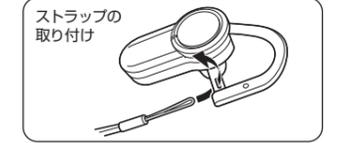
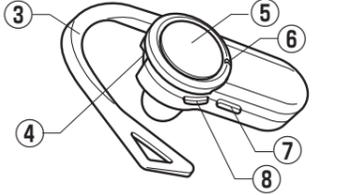
■USBアダプタ



■ヘッドセット (ウラ)



■ヘッドセット (オモテ)



- **着信音量の設定には十分気をつけてください。** 携帯電話とペアリングして使用しているときに、着信音に驚いて事故の原因となったり、心臓に影響を与える恐れがあります。

- **分解しないでください。** 本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

- **接続に使用するコードを傷つけないでください。** 火災や断線の原因となります。

- **病院内や航空機の中などでは使用しないでください。** 高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機関や航空機の計器類などの誤動作の原因になります。

- 注意** ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を受ける恐れがある事項です。

- **水気の多い場所での使用／保管は行わないでください。** 本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

- **小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。** 誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。

- **本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。**

- **車載機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください。** ご使用のお車により、まれに車載機器との間で電波干渉が起こる場合があります。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。

- **充電中は、本製品およびUSB充電ケーブルの周りに物を置かないでください。** 発熱、発火、火災、やけどの原因となります。

- **ご使用の際は、接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。** 本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能です。接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

- **定期的に充電をおこなってください。** 本製品を長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度を目安に充電をおこなってください。

### 【USBアダプタ部】

<b>対応インタフェース</b>	USB 2.0 (USB 1.1互換)
<b>キャリア周波数</b>	2.400～2.4835GHz
<b>Bluetooth仕様</b>	Bluetooth 2.1+EDR Class 1
<b>周波数拡散方式</b>	FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum) Class2
<b>伝送距離</b>	Class1 最大100m (理論値) Class1 機器との接続：推奨最大55m * Class2 機器との接続：推奨最大20m *
<b>最大通信速度</b>	約2.1Mbps (理論値)
<b>最大接続数</b>	7台
<b>アンテナタイプ</b>	内蔵型チップアンテナ
<b>環境条件 動作時</b>	温度 5～35℃ 相対湿度 20～80% (ただし、結露なきこと)
<b>保管時</b>	温度 -10～+50℃ 相対湿度 10～90% (ただし、結露なきこと)
<b>外形寸法</b>	12×24×5mm (幅×奥行き×高さ、突起部分のぞく)
<b>質量</b>	約6g

\* 使用環境により、短くなる場合があります。

### 付属USBアダプタの使用環境について

- 対応パソコン**
  - 本製品は、USBポートを持つ、次のパソコンで使用できます。
  - 各社DOS/Vパソコン
  - NEC PC98-NXシリーズ
  - Apple Macintoshシリーズ
- 対応OS**
  - Windows 7 (64ビット/32ビット) 、Windows Vista (32ビット) 、Windows XP Home Edition / Professional (32ビット) 、Windows 2000 Professional (32ビット)
  - Mac OS X 10.2.6以降

- 対応プロファイル**
  - Windows 7 【OS 標準ドライバ(使用) HID/A2DP/HFP/AVRCP 以下のプロファイルはドライバ(ソフトウェア)が必要な場合があります (弊社では動作を保証しておりません)。 SPP/HCRP/DUN/OPP/PAN/HSP
  - Windows 2000, XP, Vista 【兼芝社製ユニティリティ(使用) SPP/DUN/FTP/HID/HCRP/OPP/LAP/FAX/PAN/A2DP/(GADP)/BIP/HSP/HFP/AVRCP
  - Mac OS X 10.5 【OS 標準ドライバ(使用) SPP/DUN/FTP/HID/HCRP/OPP/A2DP/HSP/AVRCP
  - Mac OS X 10.4 【OS 標準ドライバ(使用) DUN/SPP/HID/HCRP/FTP/OPP/HSP

- ・ 複数のオーディオデバイスに対しては、同時に接続できません。したがって、ヘッドセットとAVヘッドフォンは、同時に使用できません。
- ・ Mac OS X 10.4でご利用の際は、Bluetooth2.0+EDRでの動作になります。
- ・ 接続するBluetooth機器によっては、上記プロファイルに対応していない、正しく動作しない場合があります。

- **2.4GHz帯を使用する無線LAN (IEEE802.11b/g/n) との併用は、電波干渉の発生により、利用できないことがあります。**

- **日本国以外では使用しないでください。** この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しては一切応じかねますのでご注意ください。

### ■廃棄について

本製品は内部電池にリチウムポリマー電池を使用しています。リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。本製品を廃棄する場合は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。お問合せ先については、本書巻末を参照してください。

### ■その他：こんなことにも注意してください

- ・ 衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が長時間当たる場所での使用、保管は避けてください。
- ・ 本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を加えないでください。
- ・ 温度、湿度の特に高い場所 (自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど) や直射日光が長時間あたる場所、静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- ・ 本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。

### ■電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定省電力無線局 (免許を要しない無線局) が運用されています。
●この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
●万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止しうえ、弊社テクニカルサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等 (たとえば、パーティションの設置など) についてご相談ください。
●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポートまでお問合せください。

使用周波数帯域	：2.4GHz
変調方式	：周波数拡散方式 FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)
想定干渉距離	：ヘッドセット 約10m、USBアダプタ 約100m (ともに障害物のない場合)
周波数変更の可否	：全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

## サポート修理受付窓口のご案内

### ■お問い合わせの前に

1. 本書を見て、接続の状態、注意事項をもう一度ご確認ください。
2. 弊社Webサイト(http://www.logitec.co.jp/)では、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

問題が解決しない場合は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

### ■修理について

- 修理依頼品については、下記に示す弊社修理受付窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店にご相談ください。
- 保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。
- 保証期間終了後の修理につきましては、有料となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

#### 修理ご依頼時の確認事項

- ・ お送りいただく際の送料、および梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、ご購入年月日が記載された保証書を修理依頼品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先 (ご住所／電話番号)」、「故障の状態」を書面に添付してください。
- ・ 保証期間を越えた製品の修理については、お見積りりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、修理依頼品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、輸送中の破損がないように、緩衝材に包んでダンボール箱 (本製品の梱包箱、梱包材を推奨します) 等に入れて、お送りください。
- ・ 弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。
- ・ お送りいただく際の送付状況等は、大切に保管願います。

### 本製品のお問合せ先

製品に関するお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお問い合わせいたします。

<b>ロジテック株式会社 テクニカルサポート</b>
〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268 TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034 受付時間：9：00～19：00 営業日：月曜日～金曜日 (祝日、夏期、年末年始特定休業日を除く)
<b>弊社修理受付窓口 (修理品送付先)</b>
〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268 ロジテック株式会社 長野事業所 (3番受付窓口) エレコムグループ修理センター TEL. 0265-74-1423 FAX. 0265-74-1403 受付時間：9：00～12：00、13：00～17：00 営業日：月曜日～金曜日 (祝日、夏期、年末年始特定休業日を除く)

※弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。※お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただけますよう、お願いいたします。

#### 個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修正依頼・製品に関するお問合せなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的のために関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は最新の注意を払って管理いたしますので、ご安心ください。

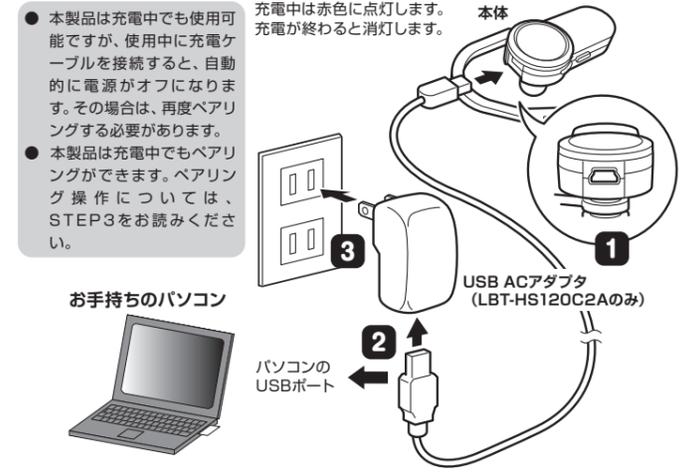
→セットアップ、操作方法についてはウラ面をお読みください。

## STEP 1 充電します

本製品は、ご使用前に充電しておく必要があります。充電には、付属のUSB充電ケーブルまたはUSB ACアダプタを使用します。

**充電が完了するまで、約2時間かかります。**  
2時間経過してもLEDランプが消灯しない場合は、充電ケーブルを取り外し、いったん充電を取りやめてください。2時間を越えて充電を続けると、電池寿命が短くなったり、故障の原因となります。

- 1 付属のUSB充電ケーブルの充電コネクタを、製品本体の充電用USBコネクタに接続します。
- 2 USB充電ケーブルのシリーズAコネクタを、パソコンのUSBポートや、市販のUSBハブのコネクタなどに接続します。
- 3 USB ACアダプタをACコンセントに差し込みます。パソコンで充電する場合は、パソコンの電源を入れます。  
●LEDランプが赤色に点灯し、充電が始まります。充電が完了すると、消灯します。



## STEP 3 ペ어링します (機器の登録)

本製品をお手持ちの携帯電話やパソコンで使用するためには、ご使用になる機器とペ어링 (機器を初期登録する作業) をおこなう必要があります。ご使用になる機器側の操作については、お手持ちの機器の取扱説明書をお読みください。

- ペ어링情報は、8つまで記憶できます。8つ以上登録した場合は、古い情報から順番に削除されます。削除された機器と再接続する場合は、再度ペ어링が必要です。
- 本製品は、携帯電話をオーディオプレーヤーとして接続できません。
- ペ어링先の機器の設定状態などの原因でペ어링が完了しない場合は、いったん電源を切ってやり直してください。
- 本製品は「Bluetooth 2.1」に準拠しています。対応機器と接続する場合は、バスキーの入力を省略できます。

- 1 本製品の電源がOFFの状態、本製品のマルチファンクションボタンを、LEDランプが青色に3回点滅するまで、約3~4秒間押し続けます。本製品の近くにすでにペ어링済みの機器があれば、LEDランプが青色の点灯に変わります (ペ어링モード)。
  - すでにペ어링済みの機器が周囲にある場合は、電源がオンになった時点でボタンから手を離してかまいません。その機器と自動的に再接続します。
  - ペ어링したい機器によっては、あらかじめ機器側で「LBT-HS120C2からの通信を許可する操作」が必要です。
  - 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切ってからやり直してください。
- 2 ペ어링したい機器 (携帯電話やパソコンなど) から、本製品を検索します。
  - 検索方法はご使用の機器によって異なります。ご使用の機器の取扱説明書などを参照してください。
- 3 携帯電話やパソコンから本製品が見つかったら、デバイス名「LBT-HS120C2」が検索画面上に表示されますので、選択して登録します。
- 4 ペ어링が完了すると、LEDランプがゆるやかな点滅 (2秒間隔で青色に点滅) に変わります。これで登録作業は完了です。
  - 機器によって、バスキーの入力を促す画面が表示されることがあります。このような場合は、「0000」 (半角数字ゼロ4つ) と入力してください。



## STEP 2 USBアダプタを使用できるようにします (Windows Vista、XP、2000のみ)

Windows 7でご使用の場合は、ドライバ/ユーティリティソフトをインストールする必要はありません。本製品をパソコンのUSBポートに接続すると、自動的に認識され、使用できるようになります。「Windows 7での登録→接続」に進んでください。

Windows Vista、XP、2000環境でUSBアダプタを使用するためには、ドライバとユーティリティソフト「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」をインストールする必要があります。ドライバ/ユーティリティソフトは、付属のセットアップCD-ROMからインストールします。

**USBアダプタはまだ取り付けないでください**  
ドライバ/ユーティリティのインストール中に、USBアダプタをパソコンに接続するよう促すメッセージが表示されます。このメッセージが表示されるまでは、USBアダプタをパソコンへ接続しないでください。

**インストールをはじめる前にお読みください**

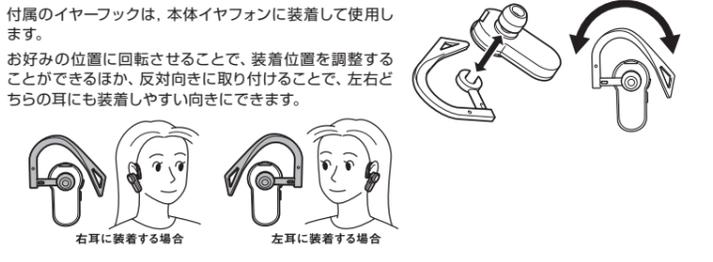
- インストールの際は管理者権限のあるユーザーとしてシステムにログオンしている必要があります。
- インストール後、コンピュータを再起動します。起動中のアプリケーションなどは全て終了しておいてください。
- ユーティリティソフトはWindows Vista、XP、2000用です。Macintosh環境ではドライバ/ユーティリティソフトをインストールする必要はありません。Macintosh環境でご使用の場合は、付属のセットアップCD-ROMに収録されているPDFマニュアル「付属USBアダプタの使い方 (Mac OS X用) (MacGuide.pdf)」をお読みください。

- 1 付属のセットアップCD-ROMをパソコンのドライブにセットします。
  - セットアップランチャーが起動します。
- 2 ランチャーが起動したら、「ソフトウェアの選択」から「ドライバ/ユーティリティ」のアイコンを選択し、「セットアップの起動」ボタンをクリックします。
  - 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」ボタンをクリックして操作を続けてください。



- 3 インストールウィザードが起動します。「次へ」ボタンをクリックします。
  - 以降は、画面の指示に従ってインストールを進めます。
- 4 次のメッセージが表示されたら、USBアダプタをパソコンのUSBポートに取り付けて、「[OK]」ボタンをクリックします。
  - 必ず本製品を取り付けた後で「[OK]」ボタンをクリックしてください。
- 5 画面の指示に従ってインストールが完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。「[はい]」ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。
  - 「[次回から表示しない]」にチェックを付けたと、以降この画面が表示されなくなります。
  - Bluetoothワイヤレスマウスやキーボードなどを初期登録する場合は、ここから自動登録を行うことができます。
- 6 再起動後、次の画面が自動的に表示されます。「[キャンセル]」ボタンをクリックします。
  - これでソフトウェアのインストールは完了です。インストールが完了すると、タスクトレイにアイコンが表示されます。

## イヤーフックの装着について



## Windows 7での登録→接続

本製品をWindows 7環境でご使用の場合は、Windows 7に標準で搭載されているドライバおよびアプリケーションを使用してください。

- 接続する機器を「ペ어링モード」にしてから作業を始めてください。
- 1 タスクバーのBluetoothのアイコンをクリックして、表示されたメニューから「デバイスの追加」を選択します。
    - アイコンが見当たらない場合は、右の画面のように「隠れているインジケータの表示ボタン」をクリックすると見つかります。
  - 2 「デバイスの追加」画面から、接続したい機器を選択し、「[次へ]」ボタンをクリックします。
    - 機器が表示されない場合は、接続したい機器がペ어링モードになっているかを確認してください。
  - 3 正常に接続が完了すると、「このデバイスは、このコンピューターに正常に追加されました」と表示されます。これで接続は完了です。
    - 機器によっては、この画面の前にバスキー (ペ어링コード) の入力を促す画面が表示されることがあります。バスキーを入力すると、接続が完了します。
- デバイスドライバソフトウェアが正しくインストールされない場合は、Windows Updateを実行し、コンピュータを最新の状態に更新してやり直してください。



## 困ったときは...

- 携帯電話で通話の音声が聞こえない
  - 一部の携帯電話では、通話中に約20秒以上の無音状態が続いた場合に、自動的に省電力モードになり、イヤホンジャックの音声入出力がオフになります。そのため、通話中でも音声が聞こえなくなる場合があります。このような場合は、本製品のマルチファンクションボタンを押して、携帯電話の省電力モードを解除してください。
- 本製品の電源が入らない。
  - 本製品のバッテリーが充電されているかどうかを確認してください。バッテリーが充電されていない場合は、バッテリーを充電してください。
- ノイズやエコー音が入る
  - ペアリング相手との距離を変えてみてください。音量を調節してみてください。
- 携帯電話の着信時にマルチファンクションボタンを押しても通話できない。
  - 一部の携帯電話では、着信時に本製品のマルチファンクションボタンを数回押さないと通話を開始できない場合があります。マルチファンクションボタンを1回だけ押しても通話できないときは、数回押してみてください。
- 通話相手に自分の声が聞こえない
  - 一部の携帯電話では、イヤホンのマイク入力が有効になるように、手動で設定する必要がある機種があります。マイク入力が無効になっていると、ヘッドセットのマイクからの音声が通話相手に聞こえません。
- 着信前に留守番転送されてしまう
  - 着信から留守番電話サービスに転送するまでの時間が短く設定されていると、本製品に音声転送される前に留守番転送されてしまいます。このような場合は、留守番電話サービスへの転送時間を長めに設定してください。
- オーディオファイルの音声が聞こえない。
  - ファイルやサイトによってはBluetoothでのオーディオ再生をサポートしていない場合があります。オーディオファイルをダウンロードしたサイトにお問い合わせください。
- Bluetooth搭載機器とペアリングできない。
  - 機器側のBluetooth機能を使用可能な状態であることを確認してください。ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合は、再度設定する必要があります。
  - ご使用の機器が本製品のプロファイルに対応しているかをご確認ください。
- 携帯電話でワンセグ以外の動画音声が聞こえない
  - 携帯電話の仕様により、ダウンロードしたプロモーションビデオ等の音声がBluetoothでは視聴できません。

## STEP 4 本製品を操作します

- 電源のオン/オフ**
- 電源ON
    - 本製品のマルチファンクションボタンを、LEDが青色に点灯するまで (約3秒) 長押しします。すでにペ어링済みの機器が近くにある場合、自動的にその機器に接続を試みます。接続が完了すると、LEDランプがゆるやかな点滅に変わり、機器が使用できるようになります。
    - 携帯電話より「LBT-HS120C2からの接続を許可する」操作や、「接続」操作が必要な場合があります。
  - 電源OFF
    - 本製品のマルチファンクションボタンを4秒以上長押しします。LEDランプが赤色に点滅したあと、消灯して電源が切れます。
- 電源が切れる前にマルチファンクションボタンから指を放すと、携帯電話によってはリダイヤル機能が動き、発信される場合があります。**
- オートパワーオフ機能について**  
携帯電話の電源を切るなど、接続中の機器からの送信が途切れた場合や、電源をONにしたあと、ペ어링相手がない場合、約5分後に電源がOFFになります。  
※電源がONの間は、LEDランプがゆるやかな点滅を続けます。

- 携帯電話で通話する**
- 携帯電話の仕様によっては、以下に説明する本製品の操作に対する携帯電話の動作が異なることがあります。**
- 電話を受ける
    - イヤホンから着信音が聞こえたら、マルチファンクションボタンを押します。
    - 携帯電話の仕様上、Bluetoothヘッドセットに着信メロディを設定することはできません。
  - 電話を切る
    - 通話状態で、マルチファンクションボタンを1回押します。
  - リダイヤルする (最後に発信した通話先)
    - マルチファンクションボタンを「カチカチ」と2回押します。
    - 着信した相手へのリダイヤルはできません。

- パソコンで音声チャットする**
- パソコンで音声チャットする場合は、パソコン側で通話開始/終了の操作をします。音声チャットの開始/終了および設定方法は、ご使用のソフトウェアやOSにより異なります。詳細はご使用のソフトウェアまたはOSのマニュアルやオンラインヘルプをお読みください。